



株式会社クリーンファーム

〒270-2331
千葉県印西市みどり台 2-2-1
TEL : 0476-55-8106
www.cleanfarm.co.jp



日栄インテック株式会社

〒116-0011
東京都荒川区西尾久 7-34-10
TEL : 03-6758-5501
www.nichieintec.jp



日栄インテック株式会社

【本社】 | 東京都荒川区西尾久7-34-10
【第二ビル】 | 東京都荒川区西尾久7-57-8
【御徒町ビル】 | 東京都台東区台東3-42-5 日栄インテック御徒町第一ビル

環境事業部 太陽光グループ | 東京都荒川区西尾久7-34-10
アグリシステムグループ | 東京都荒川区西尾久7-34-10

パーキング事業部 | 東京都台東区台東3-42-5 日栄インテック御徒町第一ビル

【工場拠点】

千葉工場 | 新潟工場 第一工場 | 新潟工場 第二工場
千葉県印西市みどり台2-3 | 新潟県南蒲原郡田上町大字田上字抄丙913 | 新潟県南蒲原郡田上町大字田上丙2909-1
 | 中轄工業団地

上海工場
NO.258,SHI HUI ROAD,SONGJIANG RONGBEI INDUSTRIAL DISTRICT,SHANGHAI,CHINA ZIP201613

ベトナム工場
NO.12, ROAD #5, LONG THANH IZ, LONG THANH DIST., DONG NAI, VIET

【物流拠点】

関東第一・第二物流センター | 新木場配送センター | 新潟物流センター | 関西物流センター
千葉県印西市みどり台2-3 | 東京都江東区新木場3-2-12 | 新潟県南蒲原郡田上町大字田上字抄丙913 | 大阪府大東市新田北町4-24
 | 中轄工業団地

※商品画像の色は印刷の具合で実物と若干異なる場合があります。また、外観・仕様は改良のため、予告なく変更することがございますのでご了承ください。
※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



地球規模の気候変動や世界的な潮流である環境問題への対応など
社会に役立ち貢献する未来技術【食農事業】

クリーンファームの 完全閉鎖型 植物工場

【スーパーアグリ・栽培棚システム】
【スーパーアグリ・コンテナシステム】

エディブルフラワー、ハーブ、サラダ野菜など



“天候不良や異常気象の影響を受けない” 安定供給の次世代農業としての 革新的な植物工場

革新性



クリーンファームの 完全閉鎖型 植物工場

クリーンファームの独自技術による
●スーパーアグリ・栽培棚システム

商品

- ビルトイン植物工場（空きスペースの活用）
- スーパーアグリプラント（コンテナ植物工場）
- インテリア・オープンタイプ（店舗やオフィス）
- 生産品：エディブルフラワー、野菜、ハーブ

クリーンファームの事業内容

- 植物工場栽培システムを企画・設計・施工・販売まで一貫体制
- 栽培コンサルティング及び植物工場運営、栽培研修

植物工場は、農業の最大の課題であった天候不良・異常気象の影響を受けることなく、計画生産、安定供給を実現し、短期間に高収穫で、しかも栽培時農業不使用の野菜を生産できます。そしてクリーンファームは「新しい価値の創造」ともなった植物工場を提案しています。「スーパー・アグリ栽培棚システム」により、既存の建物を転用することも可能です。さらには、コンテナを活用する事で植物工場の課題であったコストを抑えることを実現しています。そして、当社の最大の強みである開発・設計・製造・販売まで一貫した自社体制で行い、お客様の課題解決に対応するビジネススキームを展開しています。

経済性

安定性

効率性



これまでの農業に対しての 植物工場の革新性と魅力

植物工場のメリット

- 天候不良・異常気象の影響を受けない
- 計画生産・安定供給ができる
- 短期に高収穫（年に何回も収穫できる 年中収穫できる）
- 多段化による土地生産性の向上
- 虫や細菌などが少ない（農業が不要）
- 収穫後、土を落とす手間が無い
- 広いスペースでなくてもできる 土が無くてもできる
展開するスペースの自由度が格段にある
- 労働の周年平均化 農業でも土日休める
- クリーンな働きやすい環境＝体力の消耗が少ない
- 農業の3Kからの解放 ●人出不足対策
- 障害者雇用の創出

エディブルフラワー
（食べられる花）



多品種同時栽培

70種以上栽培品種

栽培する植物

ハーブ
サラダ野菜
彩野菜・根菜
ミニリーフ
など

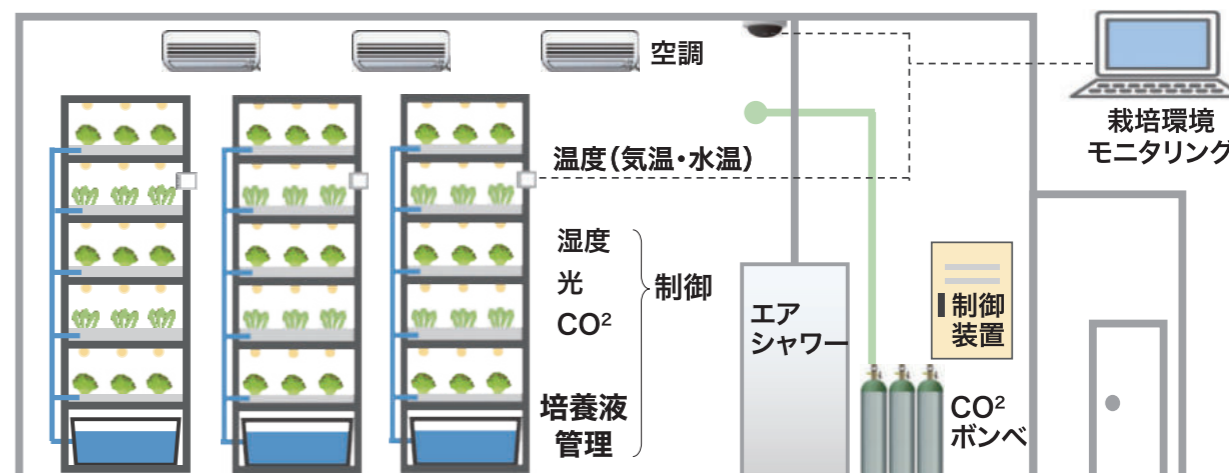


クリーンファームの提供する独自技術による植物工場

近年、地球温暖化の影響と言われている異常気象なども頻発し、安定した農作物の生産を行うことは容易ではありません。一方、建屋の中に温度や湿度などを安定的にコントロールした環境を作り、サラダ野菜やハーブなどの生産を行う植物工場は、天候不良や異常気象の影響を受けません。そして安定的に農作物を周年生産できます。その植物工場での生産を可能にしているのが、LEDを使用した人工光による植物の栽培です。

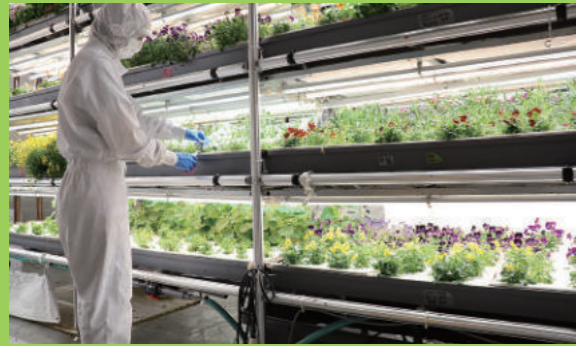
LED 照明は栽培する野菜に合った LED を使用して、より効果的に植物を栽培することも可能にしています。植物工場では、栽培する野菜やハーブにあった環境を人工的に作り出すことにより、効率的に安定した農業を行うことが可能になっています。そして、クリーンファームのビルトイン植物工場では、当社独自のスーパーアグリ・栽培棚システムにより、既存の建物を再利用、再活用することで場所を選ばずに、いつでも好きな野菜を安定して栽培することができます。

完全閉鎖型 植物工場



クリーンファームの植物工場は、完全閉鎖型です。完全閉鎖型とは、虫の侵入や細菌の侵入を極力避けて、植物工場の内部環境をクリーンルームにして植物の栽培を行います。LED 人工光を使用して、温度、湿度、二酸化炭素などを一定に保ち、安定した環境を構築します。そのための制御装置および制御のソフトなど、クリーンファーム独自のノウハウを構築しています。そして、クリーンファーム最大の独自ノウハウが培養液の制御、管理システムです。これまで培ってきた実績により、確実に効率的に安心安全な植物栽培システムを提供いたします。

スーパーアグリ・栽培棚システム

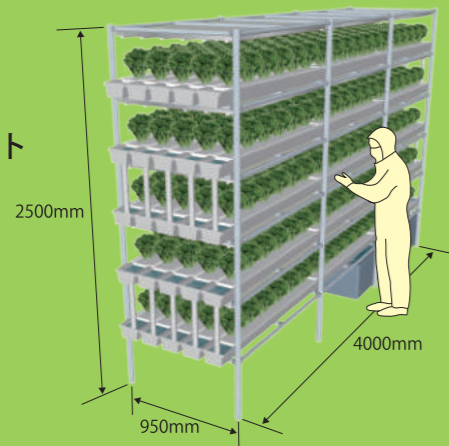


室内空間の高さを生かせるよう設計した、多段式の完全閉鎖型植物工場です。栽培槽は1段当たり5槽方式を基本とし、独自のDFT養液循環方式を確立しました。光源は白色系や暖色系の光源を組み合わせた、独自のLED照明システムを採用しています。また、弊社独自の多品種同時栽培技術を採用しており、現在70種類以上の野菜が栽培できます。



長さ4m以内の独立型ユニットにて、研究開発用から量産栽培用まで幅広くご使用出来ます。

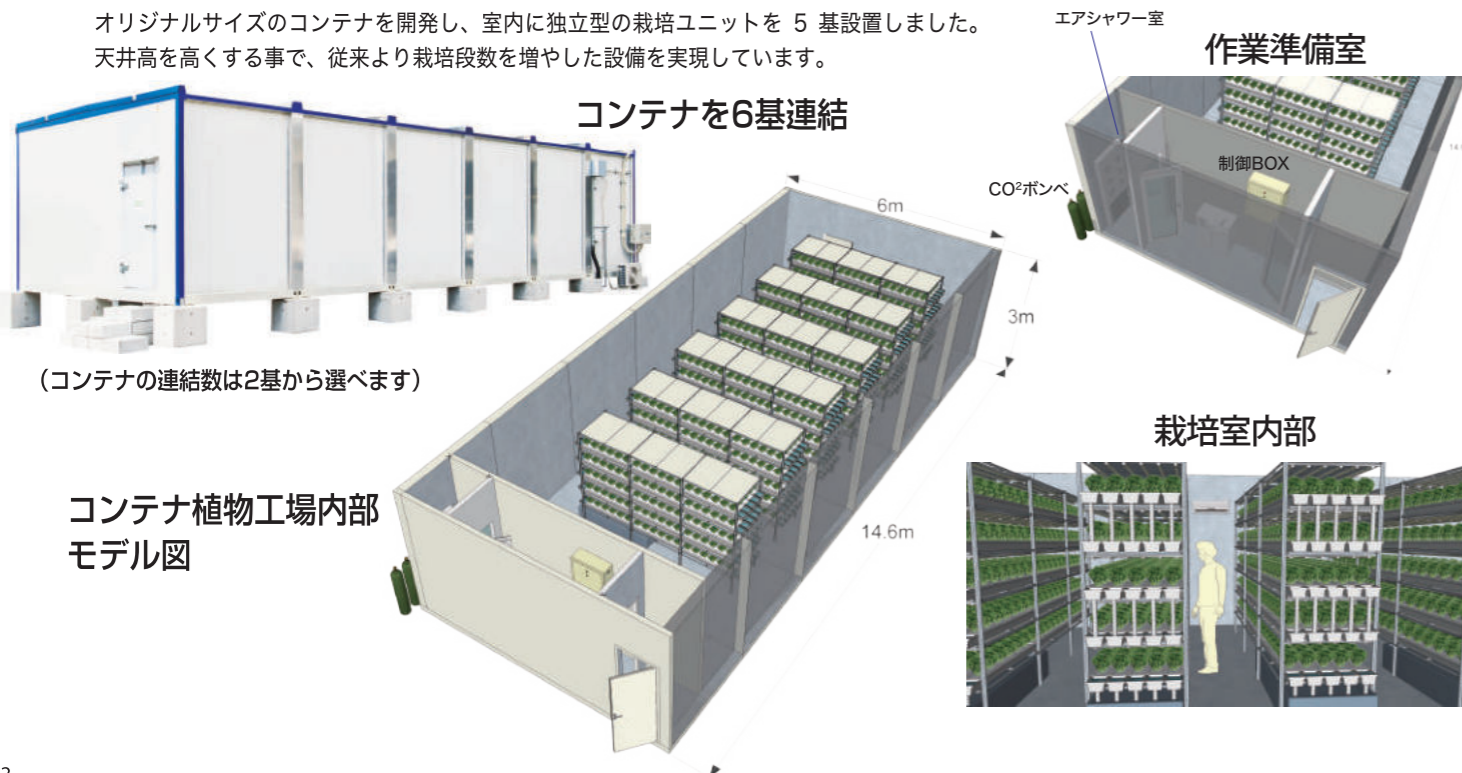
栽培ユニット



棚で栽培されている状態

植物工場用オリジナルコンテナ

オリジナルサイズのコンテナを開発し、室内に独立型の栽培ユニットを5基設置しました。天井高を高くする事で、従来より栽培段数を増やした設備を実現しています。



[スーパーアグリ・栽培棚システム] を活用した **ビルトイン植物工場** 既存の建物内に植物工場を構築します。

既存の空き建物を有効活用して植物工場ができます。空いているフロアや部屋を有効活用して、新事業として行ったり、経営の再構築や複合経営として植物工場を取り入れる。



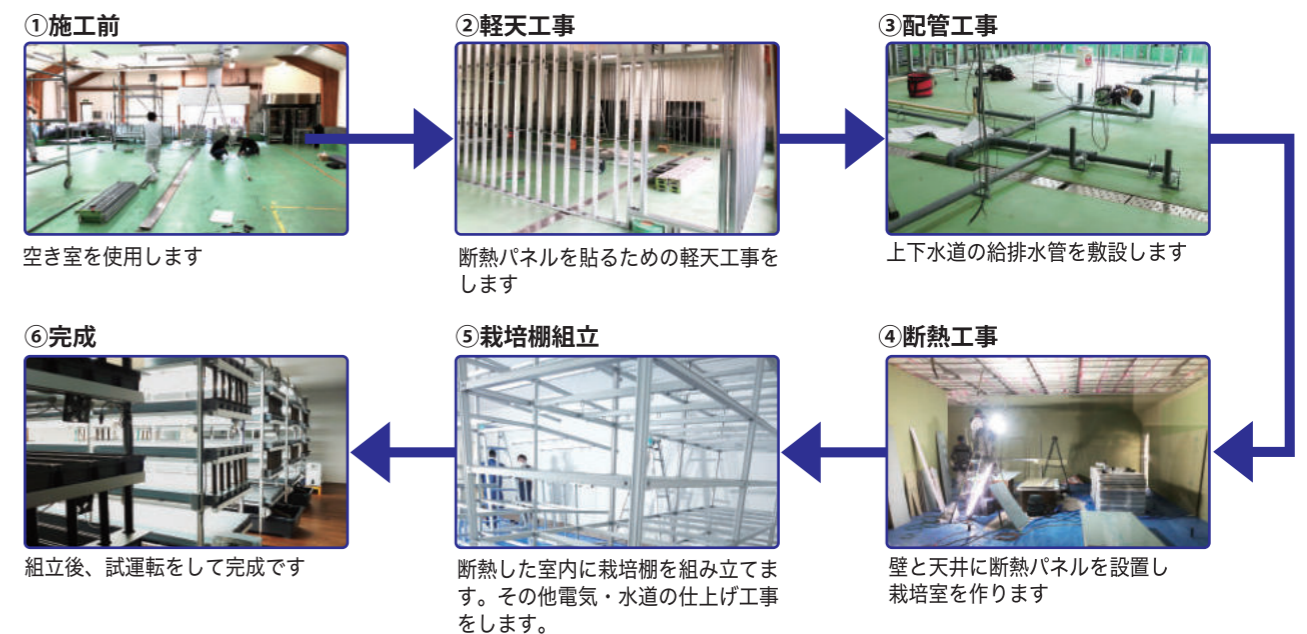
既存の建物内に栽培棚システムを設置します。

都市空間の再利用 既存施設の再利用 工場の再利用 建物の再利用

新事業、事業の多角化、施設の有効利用・・・

社会貢献事業、SDGs、環境事業・・・

● ビルトインタイプ植物工場の施工の一般的な流れ



インテリアタイプ植物棚

オープンタイプ植物棚



オフィスやレストランに設置して、実際に食べられるサラダ野菜やハーブを栽培できます。



インテリア効果

緑のある落ち着いた空間を演出します。

新鮮野菜の提供

その場で採れたての野菜が食べられます。

丈夫で長持ち。安心・安全。

軽量で、強度計算済みの高強度。さびにくく、衛生的です。

- オフィス空間に棚を設置する事による癒しの効果 (植物が持つ癒しや心地良さを与える効果)
- 働く人にとっての「心地良く働ける」「癒し」効果
- 栽培する商品が持つ付加価値ハーブやエディブルフラワーなど
- これらメリット全体が持つ Well-being 性

スイーツ
イタリアン
フレンチ
etc

カフェのスイーツやイタリアンレストランで栽培されたエディブルフラワーやハーブが活用されています。



Well-being (ウェルビーイング)とは、Well(よい)とBeing(状態)が組み合わさった言葉で、「よく在る」「よく居る」状態、心身ともに満たされた状態を表す概念です。働き方改革の延長線上で現在、ウェルビーイング経営が企業に求められている。すなわち、心身ともに健康でいられて社会的にも満足できる職場環境や制度づくりが求められています。

製品仕様

インテリアタイプ植物棚



カラー: ブラウン

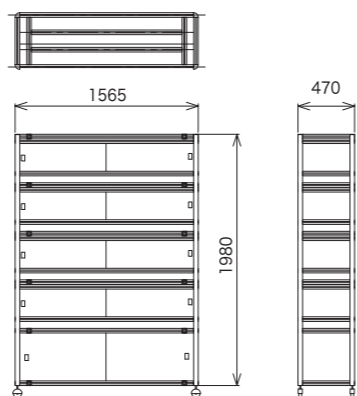


移動が楽な
キャスター付

カラーバリエーション

木目調 パネル	ダークブラウン	ブラウン	ナチュラル
単色 パネル	グリーン	シルバー	ホワイト

※色については仕様変更する可能性がありますので事前にお問い合わせ下さい。



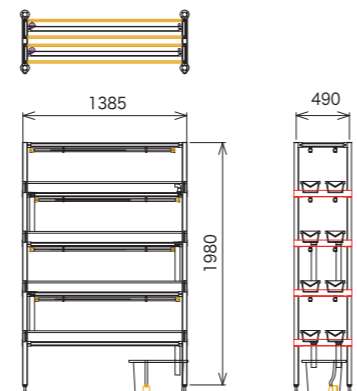
オープンタイプ植物棚



連結部品による
簡単組立



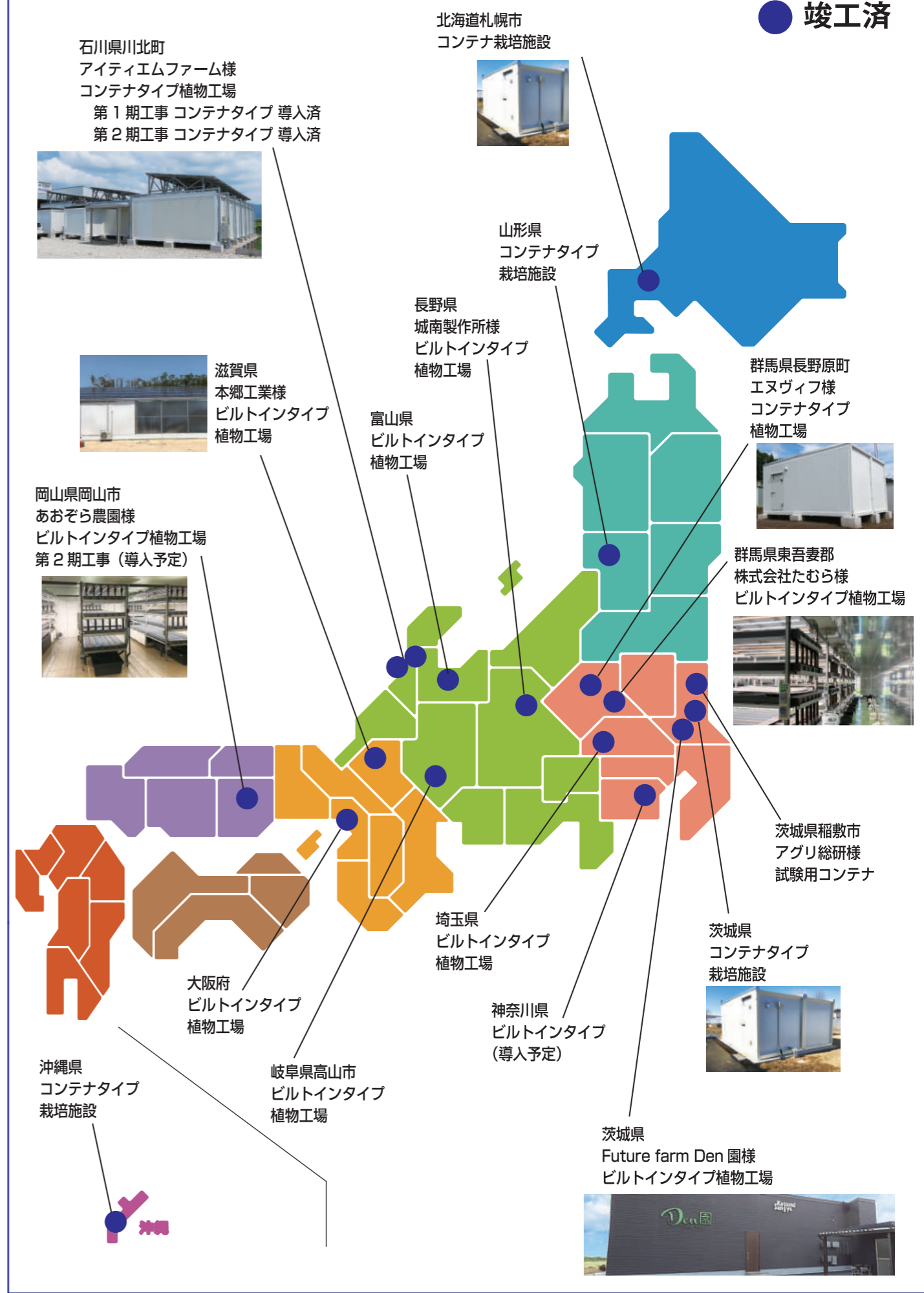
簡単レベル調整
できるアジャスター付



棚段数のオーダーはご相談ください。

クリーンファームの植物工場
全国の施工実績と受注案件

● 竣工済



導入を決定されたお客様のインタビュー

ビルトインタイプ植物工場

将来の城南製作所を支える新事業として、農業事業を第二の柱に成長させたい

長野県・上田市 株式会社城南製作所 代表取締役社長 宮本聖一様

導入のきっかけ 自動車業界は100年に一度の大変革期。会社を支える新事業探索の取り組みの結果。



□城南製作所様のコアビジネスについて
城南製作所は自動車部品の製造を主体として、製品設計開発から部品加工及び組立といった量産活動を国内3拠点、海外6拠点で担う企業グループです。

□異なる分野である植物工場事業を選んだ背景
「自動車業界は100年に1度の大変革期と言われており、弊社も危機意識を持っていることから既存事業が堅調な今のうちから、将来の城南製作所を支える新事業探索に取り組んでおりました。弊社の技術領域に関わらず、様々な分野の成長産業を調査、今後の市場成長性等の評価を行いながらテーマの絞り込み、深掘り調査を行っていく中で、クリーンファームの植物工場を知りました。

食は人の生活に欠かせないにも関わらず国内就農人口が減少している現状、政府の国内自給率向上方針にも沿い、食料も工場生産に取り組むことは非常に意義のあると考えます。また、植物工場は働きやすい環境が整った職場であり、再雇用制度の環境整備、時短労働者雇用機会創出、障害者雇用対策と社会貢献にも繋がる取り組みと理解しております。既存事業からは顧客、技術いづれも離れた新事業であり社員にも新しいことに挑戦する夢を与えることが出来ると考えております。」

導入の決めて クリーンファームの植物工場を決定するに至った要因は、下記4点

- クリーンファームが展開しているビジネスモデルが、弊社の周囲の環境を考えたときに合致していた点。
 - 大型ではなく、お客様のニーズにフレキシブルに対応しやすい小型植物工場に特化している点。
 - 設備だけではなく栽培ノウハウ、アフターフォローの体制が整っているという安心感。
 - 単発ではなく長い付き合いができるビジネスパートナーとして信頼できるのでは、という期待感を持った点が挙げられます。
- クリーンファームとパートナーを組むことで、自動車業界で培った工場運営、品質管理手法を活用し植物工場へ挑戦する可能性を見出しました。



株式会社城南製作所
代表取締役社長 宮本聖一様
社員の皆様（後列）



□導入にあたって社内での検討事項

「クリーンファームが展開しているビジネスモデルを当社に置き換えた際の市場ニーズ、また事業の成立性の検証など様々な面から検討を致しました。その一つとして納入予定の商圈のお客様の店舗へ足を運び、サンプルをお持ちした際のお客様の反応の感触を直接伺っております。その他栽培に対しての内容や、導入する上で当社での準備などが必要な面は営業担当とのやりとりで懸念事項は払拭できました。

また、我々が食品の取扱いが初めてということもあり衛生管理について公的な団体へのヒアリングを頻繁に行っております。」

□今後開始する植物工場事業への展望

「我々はまず、長野県という地の利を活かし、信州をテーマに高級レストランをターゲットとしての市場拡大を目指したいです。その後、和食、中華、他の用途拡大により対象店舗拡大、商材の拡がりとして品種改良、果物、野菜、加工品等への挑戦、更には弊社の工場生産ノウハウ応用による生産性向上にも取り組んでいきたいです。城南製作所はこの第一歩により、植物工場の拡大可能性を追求し、食用、農業事業として第二の柱に成長させたいと考えております。」

導入されたお客様を紹介致します

ビルトインタイプ植物工場

100年以上続く棉花事業で培った少量多品種販売のノウハウを植物工場事業に活かす

大阪府・貝塚市 山忠棉業株式会社 栽培部 部長 森田高史様

導入のきっかけ 繊維業界は海外勢から押されており、このまま繊維業だけでやっていくことは難しい。この先新規事業の立ち上げが必要不可欠という社内の認識。



山忠棉業は明治40年の創業以来繊維事業に特化した事業を行っており、今まで116年という間お客様へ綿原料などをご提供している棉花商社です。

「弊社の本社工場2階に構造上使用していなかった遊休部分の部屋がありましたので、これを有効活用出来るような新規事業を立ち上げられたらと思い、それが植物工場の検討を始めたきっかけの一つです。

新規事業の検討をしていた際、日栄インテック・クリーンファームのパンフレットを持ち帰って来ました。そのパンフレットの中に【遊休資産の有効利用】というキーワードが目にとまり、そこに強く惹かれました。

その後調査を進めると、日本全国で天候が不安定さを増し、農作物が安定的に取れない・農業従事者も高齢化が進みどんどん減少しているといった現実を知りました。そこで弊社で植物工場設備を使って農業を行い、農産物を安定供給することは、地域の社会貢献に繋がり弊社にとっても有意義な事業であると感じました。」

導入の決めて 地域の社会貢献につながり、有意義な事業であるという判断

実際に植物工場を導入したご感想

植物工場は、第一に衛生的に管理された施設内で農業を使わずに野菜が栽培出来るので、食べる人にとって安心安全なものが作れる。そして実際にできたものが、本当にえぐみが少なく非常に美味しい。これはもう間違いなく言えると思います。出来た野菜も非常に長持ちするというように感じます。また、季節に関係なく周年でいつでも栽培出来るのがメリットだと思います。

どういったところに出荷しているか 地産地消をモットーにやはり新鮮な状態で食べていただきたいという思いがあるので、当社の植物工場から大体10キロ圏内。エディブルフラワーは付加価値があり小さい荷量ですむので、冷蔵便で遠方、お問い合わせのあった業者さん向けに出荷しています。



山忠棉業株式会社
栽培部 部長 森田高史様



お客様からの印象的なエピソード

冬場にバジルをお出したときにはびっくりされました。バジルを見た瞬間にすぐに袋を開け「とても良い香りがする」と。即決で年間での仕入契約を決めて頂きました。非常に嬉しくて、品質の良さを認めていただいたことに感動したといいますが、人に褒めていただく度に自信を持つようになりました。また「野菜を売る」ということに対しても初めての経験でしたので始めはすごく不安でしたが、この経験を機会にすこく自信を持って進めることができいております。



今後の展望

大阪ブランドを活かして、大規模の競合他社には無い、我々にしかできない特化したものを作っていきたい。その中でもエディブルフラワーは特に期待しています。世の中の認知度は非常に高まっているという印象がありますので、これからどんどん需要は増えていくと感じております。そのため私どもの設備についてもメインでお花を作れるような体制に持っていき、この面を伸ばしていきたい、「大阪に植物工場栽培のお花では山忠あり！」と言われるぐらいまでしたいと思っています。



導入されたお客様を紹介致します

ビルトインタイプ植物工場

岐阜県・高山市 株式会社 Ferme du Soleil 代表取締役 五十嵐優樹 様



導入のきっかけ

前職では農林水産省に勤務をしており最後は耕作放棄地の対策を担当していたのですが、日本の農地はどんどん減っていき食料自給率も低い、農家の担い手がどんどん減少していく中、食料を安定供給していくのに植物工場は必要不可欠なので、今後伸びていく分野としてやっていこうという思いがありました。その中でクリーンファームのシステムに目をつけたのはやはりエディブルフラワー・食べられる花が今後伸びていこうというところ。マーケティング調査をした際高山で品質の高いエディブルフラワーがなかなか手に入りづらいという結果もあったこともきっかけです。更に大自然に囲まれた使われていない食品加工場をご紹介いただき、見学させていただいて準備を進めていきました。

導入の決めて 今後伸びていこうエディブルフラワーが栽培できる

高山を選んだ理由

前職でイスラエルに行っていた際、高山市の職員の方と仕事をする機会があり、実はイスラエル人の観光客が一番多く訪れる場所が高山という統計データがあること、併せて、植物工場野菜で食事に厳しい制限のあるユダヤ教徒が食べてもよいとされる清浄な食品「コーシャ」の認証をまだ国内で取っているところがなかったということを知り高山に植物工場を考えるようになりました。また、高山は冬場農業ができないという課題があります。今後植物工場の様な新しい農業の技術を取り込むことによって、地域の課題解決に貢献するとともに、他の農家さんの農業に対する意欲を掻き立てられたらと高山市長との意見交換もしております。もう一つ、自然豊かな高山は美味しい水をひくことができます。植物工場では養液栽培を行うというところから水の美味しさが高山を選ぶ基準となりました。



株式会社 Ferme du Soleil
代表取締役 五十嵐 優樹 様

ブランド おおごっつお



飛騨弁で最上級のごちそうという意味のおおごっつおという方言を野菜のブランド名に。ぜいたくなごちそう野菜という意味を込めています。ふるさと納税にも使用

連携した地域活性化

植物工場の稼働にあわせて、地元の事業者の方と連携した地域活性化を進めています。この植物工場は道の駅に併設しているので、工場見学の帰りに立ち寄られたり、植物工場の先には廃校もあって、酒蔵さんがウイスキーの蒸留所を作る予定になっており、新しい風がどんどん入り始めたかなと思います。ここ高山という場所でインバウンドの取組みを成功させモデルケースとして確立することによって、日本国内で同じ様な課題を持っているような地方での導入、さらにはコーシャという独自の強みというところで海外展開も視野に入れています。

マリーゴールドの試食は柑橘系の味がして好評



色違いも含めると

40種類程度栽培



色違いも含めると40種類程度栽培。現在は薬物野菜・リーフ系を主に栽培。東京の高級スーパーに納品しているものは好評。

直営のカフェに納品



ミックスリーフを使ったグリーンスムージーにエディブルフラワーをトッピングし提供。健康に気を使う地元の方に大人気。

地元レストランの

パルフィオーレ様とのコラボメニュー



花を練り込んだシルクパスタ「ハナノパスタ」を提供。デザートにもエディブルフラワーを使用。

『Mottainaiをモットーに新しいをつくる』を理念に

まず、使われなくなった食品加工場を植物工場という新しい施設に再利用しています。次に野菜といえば洗うものというイメージがあるが、作り方次第で洗わず食べられ栄養素を失わずに取り込めますし味に関しても、水っぽくならずとれたての味を楽しめます。食の楽しみが増えますよね。更に洗ったり切ったりした際に排出されるゴミが少ないことも環境に配慮しています。なにより野菜・花についてお客様からの一番評価が高いのは味と鮮度です。植物工場生産品と思えない味と香りの良さが日が経っても味わえることに皆さん驚かれます。日持ちがする分ロスにならないこともとても大事なことのひとつです。

高山という場所をインバウンドの取組みをしていく際のひとつのモデルケースに

株式会社たむら
代表取締役 田村輝幸 様



ビルトインタイプ植物工場



野菜の販売先については地元のマーケットをしっかりと捉え、地産地消費のニーズが高い地元の温泉旅館、イタリアンなどの飲食店へエディブルフラワーやミックスリーフの販売を開始しました。また一般のお客様向けに、首都圏の直売所などへも販路を広げており、大変好評を得ております。

導入されたお客様

土地柄・地域柄にあった、新たな農業の確立したいという思いから。エディブルフラワー栽培の豊富な実績と販促サポート体制が導入の決め手。

2019年の農業week展示会で、御社のエディブルフラワーの栽培・販売実績を知り、優位性になる可能性を高く感じました。そして御社販促サポート体制が、導入の決め手となりました。

多品種少量生産で混流生産が可能なクリーンファームさんの植物工場ラインはとても汎用性が高いので、お客様のニーズにお答えできる生産が可能になるのです。



株式会社たむら
代表取締役 田村輝幸様

この地域ならではの農業ビジネスを展開し、女性や高齢者の方などの地域雇用の創出に取り組んでいきます。

エディブルフラワーはこれからの商品です。お花自体の売り込みはもちろんですが薬物野菜を売り込む際のインパクトのあるきっかけとして上手に使っていききたいですね。



栽培研修の様子

導入されたお客様

ホッコー商事株式会社
代表取締役社長 矢野茂 様



ビルトインタイプ植物工場



新鮮で安心な野菜を提供することが、地元立山町への最大貢献であると思われ、農業事業に焦点を絞りました。また天候に左右されることがなく安定して収穫できるうえ、農業未経験者でも参入しやすい。何より農業不使用での栽培が可能であり消費者に安心安全な野菜を提供できるため植物工場を選択しました。植物工場は「立山やさい工房」という屋号をつけ商標登録を行い、今後地域の皆様と共に大切に育てていけたらと考えております。

地元の人に新鮮で美味しい、安心・安全な野菜を届けたいという思い。ビルトイン植物工場/コンパクトな植物工場の豊富な実績が導入の決め手。

ホッコー商事株式会社
代表取締役社長 矢野茂様

初期投資額を極力抑え、遊休資産を活用したコンパクトな植物工場からスタートし、経験を積みたというホッコー商事の方向性とクリーンファームさんのビジネスモデルがマッチしました。

立山町ブランドを活用すると同時に、立山町の活性化に貢献できるのではとの思いから屋号に立山を入れました。立山町とはお互いが発展できる関係性を築いていきたいです。

一種類の野菜を大量生産する工場ではなく、多品種同時栽培に挑戦してこだわりをもってお客様のニーズに合った野菜づくりを続けていきたい。



消費者の方より、次はいつ納品されるのかという嬉しいお問い合わせも来ております。



多品種野菜
栽培支援

立山町の学校給食にも
採用されました



エディブル
フラワー
の栽培も開始

多品種同時栽培・栽培時農薬不使用・周年栽培で安定した出荷



※下記記載の栽培品種は一例です。記載以外の栽培品種もございます。詳しくは担当までご相談ください。



クリーンファームが提供する植物工場ではエディブルフラワーを栽培することができます。



エディブルフラワーとは、Edible(食べられる)Flower(花)の文字通り、食用花のことを指します。



近年の SNS 人気を背景に、お料理やスイーツの写真を撮影しネットで共有するのはもはや日常の光景となりました。そのような中、シェフのスペシャリティに華やかさをそえる「エディブルフラワー」のニーズが高まっております。

- プロのトップシェフやパティシエの方々にお話をうかがうと、
- ・周年で同じ花を使いたい季節によっては調達できない
 - ・暑い夏場など季節によりエディブルフラワー自体の入手が困難、
 - ・ほしいときに希望する色の花が揃えられない

などのお声が寄せられました。

そこで当社は植物工場で培った多品種栽培技術を応用し、エディブルフラワーを1年中安定して量産栽培する技術を確認しました。当社のエディブルフラワーは自社直営の植物工場にて食品工場のようにしっかりと衛生管理された施設内の下、夏の花も冬の花も季節関係なく周年栽培しています。栽培時農薬不使用ですのでどなたでも安心してご使用いただけます。

このような品質が認められ、Forbes(フォーブス)ホテル格付け最高位のホテル様をはじめ、高級レストラン様にもご採用いただいております。

エディブルフラワー・野菜のお取引先

クリーンファームのエディブルフラワー・リーフは自社直営の植物工場にてしっかりと衛生管理された施設内の下、季節関係なく周年栽培しています。それでいて栽培時農薬不使用ですのでどなたでも安心してご使用いただけます。このような品質が認められ、Forbes(フォーブス)ホテル格付け最高位のホテル様や高級レストラン様にもご採用いただいております。

東京都港区 グランプリエ東京様



千葉県佐倉市 レストランテ カステッロ様



千葉県印西市 アンソレイエ様



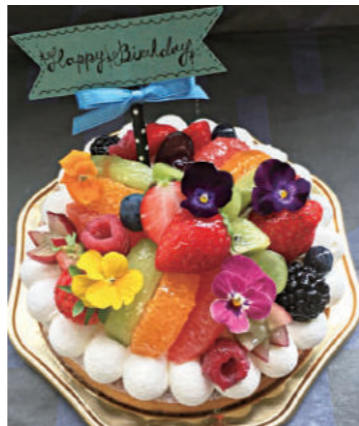
千葉県佐倉市 ベルヴェデーレ様



千葉県佐倉市 オリベート様



千葉県白井市 お菓子工房TAUKO様



日栄インテックグループのご紹介

地球環境

「農」と「食」

SDGs 市場

日栄インテックのネクストアグリ事業

透光通所の豊富な品揃え

LED 照明事業

日栄インテック株式会社
環境事業部

植物工場（完全人工光型）や施設園芸、育苗施設など、あらゆるシーンに最適な植物育成用 LED 照明

農業革命

植物工場

株式会社クリーンファーム

- ・新鮮野菜栽培のイノベーション（栽培システム+販売システム）
- ・収穫された野菜やエディブルフラワー
- ・スーパーアグリハウス（周年いちご栽培ハウス・システム）

日栄インテック株式会社

- 配管支持金具事業
- 太陽光発電事業
- 立体駐車場事業
- カーポート&金具
- 耐震補強金具事業

高品質・高精度の製品づくりを支える
製造・物流拠点

自社工場一貫体制（新潟・千葉・上海・ベトナム）

開発・設計・製造・供給・OEM 生産



農作物に不可欠な
送粉昆虫や
天敵製材の最大手

アグリ総研・アグリセクト

株式会社アグリ総研
株式会社アグリセクト

- ・国産の受粉用ミツバチ（クロマルハナバチ）供給の最大手
- ・無農薬栽培を可能にする昆虫による天敵製材

物流革命

生鮮庫 (SCS)

日栄インテック株式会社
環境事業部

生鮮食品（野菜・果物・鮮魚など）の画期的な鮮度保持

1年中栽培できる
画期的なハウス

太陽光型植物工場

日栄インテック株式会社
環境事業部

- ・スチールとアルミのハイブリッド製材による強度および耐久性と省コスト化を実現したハウス
- ・気化熱で温度調整、灌漑した水を再利用して循環させるシステム（無駄を排した効率化）